

# 平成24年度に向けた教育方針を問う

## 中学校統合と整備に尽力



中山 美幸 議員

第二次大崎町総合計画、大崎町過疎地域自立促進法、新たな学習指導要領などを踏まえ、平成24年度へ向けた大崎町の教育、特に学校教育の基本的な考え方を問う。

### 問題点を把握し 5月に示す

#### 教育長

本町の教育の問題点と現状など把握しつつある。問題点を細かに分析しながら、24年度に向け教育行政の指針を5月までには示したい。学校教育では学力向上の問題、体力の問

題いろいろあるが、問題点を整理し、改善に向けて努力する。詳しくは、今後冊子にまとめ示す。

### 中学校整備が 大きな仕事

#### 町長

26年4月1日を中学校統合実施日と定め、おり、議会可決後、大崎中学校の整備が一番大きな仕事になる。教室、体育館などの大規模改修事業に着手。24年度、25年度の2ヶ年間で整備を実施したい。小学校においては野方小学校体育館の耐震化整備を進める。

### 食育をどのようにつな ぐえるか

#### 中山議員

食育についてどのよ

うな認識をもっているか、郷土でできるものを食する事で、郷土愛も育つ。食育だけに捉われず総合的観点から教育に結び付ける活動を推進すべきだ。統計を見ると、幼児・小・中学生の虫歯、これは県内でワースト10に入る。養護教諭、栄養士、保健福祉課などを含めてフッ化物洗口、医療費無料化など、指導方法も含め考えるべきだ。また、県の統計によると小学校に入学と共に肥満が多くなる傾向にある。この事も併せて改善すべきだがどうか。

### 知・徳・体の基本 と捉え指導する

#### 教育長

食習慣を要因の一つとする生活習慣病の低

年齢化、食生活の乱れが問題視されてきた。知育、徳育、体育の基本として、食育がある

と捉え重要だ。栄養教諭や養護教諭などが担任と一緒に進めている。好き嫌いの問題も、学校だけでなく、家庭でもきちんとしてもらいたい。食の大事さは十分認識しており指導していく。



歯科検診を受ける生徒

### 有害鳥獣による 被害状況を示せ

#### 中山議員

有害鳥獣捕獲事業については何回も委員会、本会議の予算審査の中でも指摘した。現在、その被害をどのように

把握しているか。

### 猟友会で対応している

#### 農林振興課長

猟友会の方にパトロールをお願いして、群れと遭遇したら銃器等を使っていかくや射殺などの対策を講じている。現在は出沒報告があれば猟友会の方々が追いつくというものが一番の策になっており、駆除と並行しながらやっている。22年度被害総額は273万5,000円内訳は獣類被害99万8,000円、鳥類被害は173万7,000円と算出している。

対策を講じている。

### 抜本的対策を急げ

#### 中山議員

担当課の県への報告は3年間ほとんど変わっていない。この事は新しい対策を講じなかつたといえ、特別措置法はまだ継続している。同法によると鳥獣

対策実行部隊を設置することにより助成金もあるようだ。このよう

な助成策を利用し抜本的解決策を取るべきである。今後、人的被害も心配される。人に被害がおよぶ前に対策を講じるべきであり、被害が出たら人災であることを申し添えておく。

### 有効な手段を講ずる

#### 農林振興課長

パトロール業務については猟友会にお願いをする計画である。住民に被害が発生してからは遅い事は十分認識をしている。助成策もあるが、足りない分は町費で賄うなど、予算や効果的な駆除方法など有効な手段を講じる。

#### ※フッ化物洗口とは

フッ化物水溶液を用いてブクブクうがいを行い、歯の表面にフッ化物を作用させて、虫歯を予防する方法